

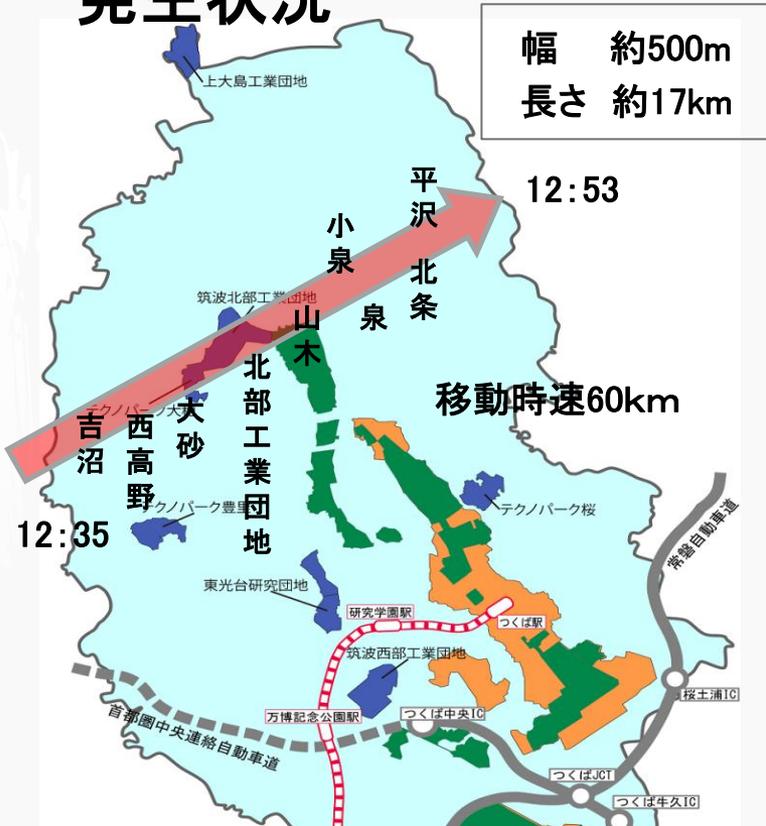
つくば市の竜巻災害



平成24年5月6日(日)に発生した竜巻

竜巻の発生と被害概要

発生状況



平成24年5月6日(日)

12:38 茨城県竜巻注意情報発表

12:46 消防本部にけが人発生の情報入電

【竜巻の風速】 藤田スケール: F3(70~92m/s)

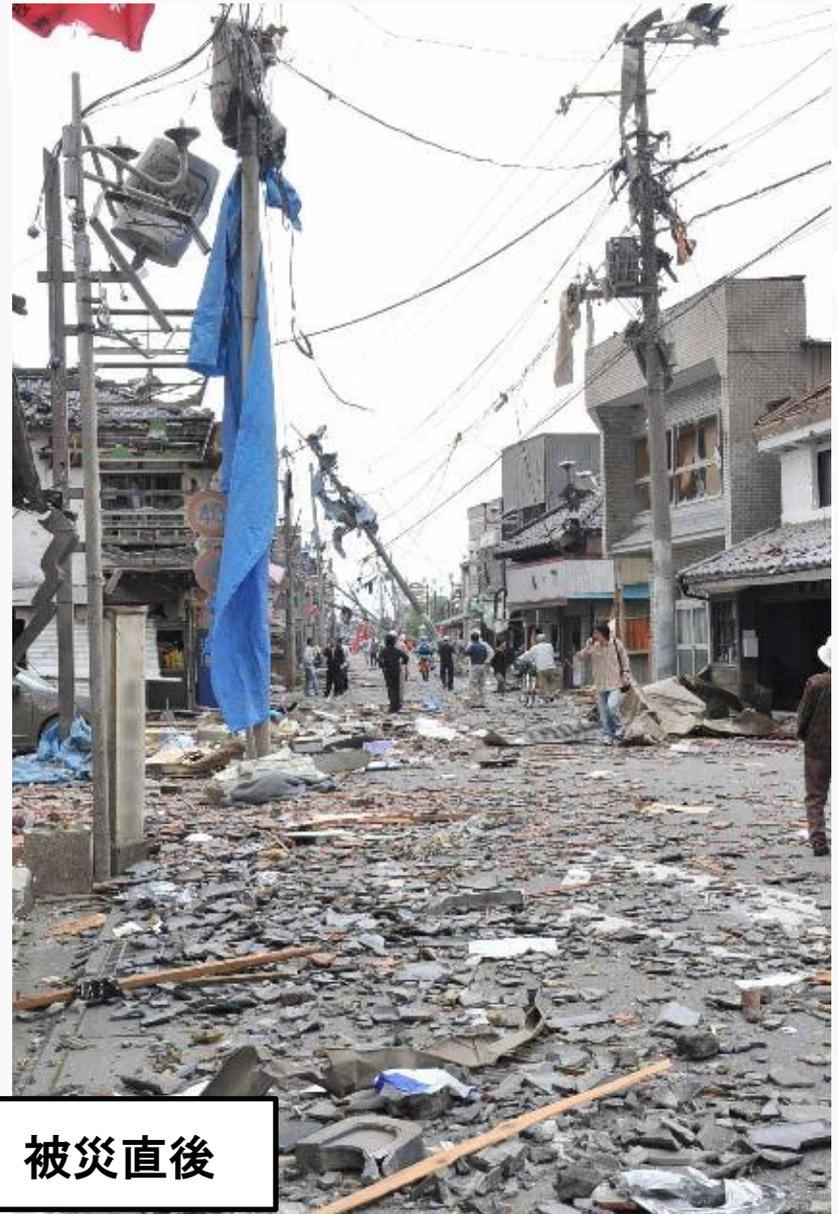
被害概要

- ◆ 人的被害 H25.11.1現在
 - ・ 死者1名, 負傷者37名
- ◆ 住家被害(合計 1,114棟) H25.11.1現在
 - ・ 全壊住宅 210棟
 - ・ 大規模半壊 50棟
 - ・ 半壊 209棟
 - ・ 一部損壊 645棟
- ◆ ライフライン被害
 - ・ 電気 一時停電
 - 5月6日発生直後 21,012世帯
 - 5月9日完全復旧
 - ・ 上水道 一部断水(5月6日復旧)
 - ・ 道路 一時通行止め(5月9日復旧)
 - ・ 電話 一時不通(5月13日復旧)

新がんばる商店街77選に選定された『北条商店街』



被災前



被災直後

被災地の現在(平成25年11月)



現在の状況

被災直後の北条商店街



被災直後

被災地の現在(平成25年11月)



現在の状況

大きな被害を受けた集合住宅と 手前の戸建住宅2棟(うち1棟は全壊)



被災直後

被災地の現在(平成25年11月)



現在の状況

倒壊した戸建て住宅



被災直後

写真提供:国土技術政策総合研究所・建築研究所

被災地の現在(平成25年11月)



現在の状況

住宅街の被災状況



被災直後

被災地の現在(平成25年11月)



現在の状況

災害対応

平成24年5月6日(日) No.1

- 災害対策本部, 現地災害対策本部設置
(現地本部:5月6日~6月15日)
- 被災住宅, 被災者状況把握開始(全戸)
- ガレキ撤去, 受入:5月6日~平成25年1月31日
→ 総処理量12,537.98トン
- 救援物資配布:5月6日~7月23日
- 給水活動:5月6日~8日
- 自衛隊の災害派遣:5月6日~8日(搜索活動)
- 避難所開設:5月6日~16日
- ライフライン復旧開始(電気・電話・道路・上下水道)
- 公共施設被害把握(幼保小中学校・集会所・消防団施設等)



災害対応

平成24年5月6日(日) No.2

- 情報提供, 収集開始(HP・広報車・チラシ等)
 - 広報車両等による生活支援情報:5月6,7日
 - 被災者世帯へのチラシ等の各戸配布:5月9日~10月10日
- 福祉活動開始(要援護者等支援)
 - ひとり暮らし高齢世帯, 高齢者世帯訪問:5月6日~11日
(ブルーシート, がれき入れ袋, 非常食の配布)
 - ひとり暮らし重度身体障害者, 障害者世帯訪問:5月6,7日
- 被災地警備開始
 - 消防本部, 消防団による夜間巡回:5月6日~31日
 - 防犯サポーターによる防犯パトロール:5月8日~11月9日
- 他市等からの支援物資受入開始



災害対応

平成24年5月7日(月)

- 農地, 農作物被害把握開始
- ボランティアセンター開設
 - 筑波交流センター: 5月7日～6月15日
 - つくば市社会福祉協議会
6月16日～平成25年10月31日
- 義援金受入開始
- 仮設トイレ設置
- 被害住宅の実態把握(り災証明発行事前調査)
 - 判定基準統一化, 現地事前調査
- 被災者への入浴支援開始
 - ふれあいの里: 5月7日～13日
 - 市民研修センター: 5月8日～6月30日
- 視察対応(5月7日～ 全27回)
- 税, 保険料等減免受付開始: 5月7日受付開始



災害対応

平成24年5月8日以降 No.1

- 被災者食事支援:5月8日～16日（北条地区）
- 健康相談開始



→ひとり暮らし高齢世帯, 高齢者世帯メンタル対応

5月14日～21日

→健康相談所:5月14日～6月6日

→小中学校へのスクールカウンセラー派遣

(北条小学校:計5回, 筑波東中学校:計6回)

→被災地への健康調査訪問

1回目:6月21日～7月6日 訪問件数109件

2回目:7月23日～8月9日 訪問件数112件

災害対応

平成24年5月8日(火)以降 No.2

- 竜巻災害支援金・義援金

- 被災者再建支援制度の相談：5月13日～21日

- 現地窓口開設：5月22日～6月25日

- (筑波・大穂窓口センター)

- 支援金，義援金未申請世帯への戸別訪問

- (平成25年11月再度戸別訪問予定)

- 支援金支給件数：479件

- 義援金配分件数：一次418件，二次579件，三次223件

- り災証明受付発行：5月18日発行開始

災害対応

平成24年5月8日(火)以降 No.3

- 住民説明会
 - 筑波地区：5月21日，大穂地区：5月22日
- 仮設住宅申込，入居開始：5月22日申込開始
(入居確定：39件，平成25年11月1日現在入居件数：4件)
- 中央要望
- 竜巻災害相談センター開設：6月18日～8月31日
 - 筑波・大穂窓口センター
- 住宅応急修理：5月22日～7月31日申込受付
 - 申込件数：104件
- 竜巻災害現状確認のための戸別訪問
(平成24年12月10日～平成25年1月18日：503件訪問)



竜巻災害をふまえて、その研究と防災について、講演会を開催。

気象庁気象研究所

(独)建築研究所

(独)防災科学技術研究所

気象庁水戸地方気象台



竜巻講演会
～竜巻の研究と防災、5月6日の災害をふまえて～

日時: 2012年6月30日(土) 15:00～17:00
会場: つくば市役所201会議室 (TX研究学園駅徒歩7分)
(180名定員の会場です。先着順で入場できます)

主催: 気象庁気象研究所
共催: つくば市
(予定含む) (独)防災科学技術研究所
(独)建築研究所
水戸地方気象台
文部科学省戦略推進費「気候変動に伴う極端気象に強い都市づくり」事務局
(発表会場: つくば市在住者専用提供)

お問い合わせ先: 気象庁気象研究所企画室
〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1
029-853-8535
ngmn11ts@mri-jma.go.jp
http://www.mri-jma.go.jp

はじめに: 竜巻とは? さまざまな課題—
真村 悟 気象研究所
現地調査: 竜巻による建築物の被害形態について
喜々津仁由 建築研究所
気象レーダでみる竜巻とその観測: 竜巻の観測について
鈴木真一 防災科学技術研究所
竜巻が生まれた気象状況: 竜巻の予報はできるのか?
加藤輝之 気象研究所
竜巻にそなえて ~気象情報を上手に使う~
渡辺典昭 水戸地方気象台

常総市 12:35, 12:37, 12:39, 12:41
つくば市 12:45, 12:47, 12:49, 12:51, 12:53

レーダー

竜巻災害報告会～1年を迎えて～



平成25年5月6日 市民ホールつくばね

1 一人一人が自ら取組むこと(自分の命は自分で守る)【自助】

○ 市民意識の高揚, 各自の備え強化

- パンフレット「我が家の防災チェックBOOK」, 「竜巻から身を守る」などの全戸配布
- 「防災マップ」, 「洪水ハザードマップ」の作成・「土砂災害ハザードマップ」の作成予定
- 出前講座による啓発



対策1

2 地域や身近な人が一緒に取組むこと(地域の安全はみんなで守る)【共助】

○ 自主防災組織への支援

→ 結成時(上限5万円), 資機材整備(上限20万円)の補助

○ 地域防災活動への支援

→ 地域との連携による学校防災力強化推進事業の実施(教育委員会)

→ 学校防災力強化推進事業と連携した「地域見守り活動」の実施(社会福祉協議会)

○ 地域意識の高揚, 地域の備え強化 → 出前講座による啓発



3 自治体などが取組むこと(自治体などの義務)【公助】

○ 情報伝達システムの構築

- 防災行政無線、エリアメール、メディアなどを活用し、地理的条件を考慮するなどつくば市の
実情にあったシステムの構築
- 土砂災害警戒区域等に指定されている地域への防災行政無線の整備

○ 避難所機能の充実

- 備蓄品、災害用深井戸、非常用電源、通信手段の確保

○ 防災協定の充実

- 民間企業、業界団体、他自治体との災害時の支援・応援の協定を締結

○ 総合防災訓練の実施

- 市民、消防、警察、自衛隊、ライフライン関係機関、防災協定締結機関、医療関係機関との連
携体制の充実

○ 消防機能の充実

- 老朽化した消防本部庁舎・中央消防署庁舎を
一体化し、防災活動拠点の整備・充実を図るため、
新消防庁舎の建設



【自 助】

一人一人が自ら取組むこと

【共 助】

地域や身近な人が一緒に取組むこと

【公 助】

自治体などが取組むこと

**災害発生時の被害を最小限にするためには
自助・共助・公助の連携が重要**